

バロー、出店スピード加速

コーナンとの提携効果、「居抜き」活用



生鮮品の割合が高いスーパーマーケットバロー稲沢平和店
＝愛知県稲沢市

関東、関西 コストの抑制図る

バローホールディングス(HD)は、ホームセンター運営のコーナン商事との連携強化で、関西や関東への食品スーパーの出店を増やす。ホームセンターコーナンが営業する建物への居抜き出店などで、出店スピードの向上と出店にかかるコストの抑制を図るとともに、ホームセンターの集客をスーパーに取り込む。

(松浦健司)

バローHDは2月、コーナンと資本業務提携で基本合意したと発表。2023年から食品スーパーとホームセンターコーナンの共同

出店を3店舗で実施してきたが、出店を加速させる。まずは今年の夏から秋にかけて、大阪府豊中市のホームセンターコーナンの建物

2階に、主力の食品スーパー「バロー」を出店する。5月に開いた決算会見で、バローHDの小池孝幸社長は「コーナンとの取り組みで、スーパーマーケットの成長可能性が非常に高まった」と手応えを語った。共同出店のほか、ホームセンターコーナンが営業している建物への居抜き出店や店舗の一部を活用しての出店など、さまざまな形で協議を重ねる。「建築コストの面でもスピードの面でも効果がある。3カ月ぐらいい前倒しで出店できる事例も出てきている」と見通しを示す。

バローHDは昨年4月、愛知県稲沢市のホームセンターバローの建物内にスーパーのバローをオープン。飲料や酒類の販売はホームセンターが担い、スーパー

は鮮魚や野菜、精肉の品ぞろえを前面に押し出し生鮮品の割合が高い店舗とした。小池社長は「ホームセンターとスーパーは来店の時間帯が違い、非常に回転率の高い施設になった。これは、同じホームセンターであるコーナンにとってもメリットとなる」とした。